

岩手県立中部病院 初期臨床研修

■ OBE

研修アウトカム 2016

* GIO/SBOの表記から

コンピテンス/コンピテンシーに変えました

* 方略・評価もシンプルな表現にしました

アウトカム
(コンピテンス)

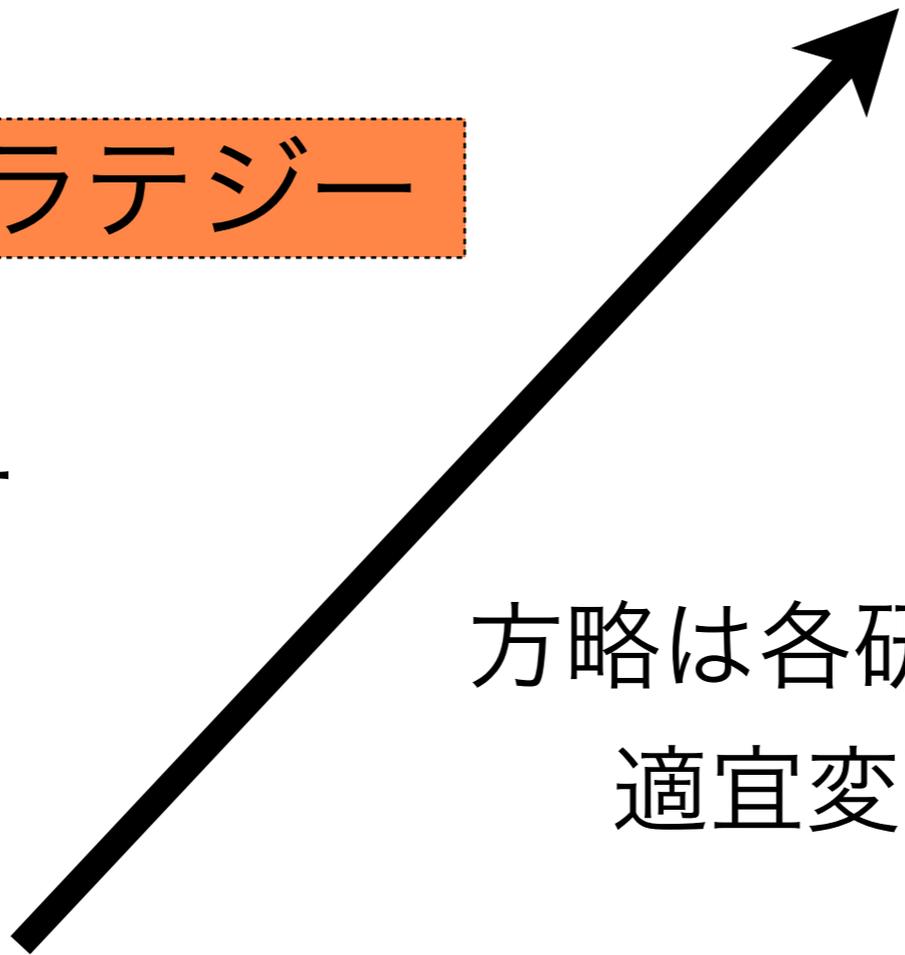
現場の評価
360°評価

方略 ストラテジー

OJT
Off-JT

研修医

方略は各研修医のレベルに応じて
適宜変更し、品質保証する



■コンピテンス

7

- 誠実であれ
- 思いやりと情熱
- 論理と根拠を考える
- 問題解決を身につける
- 誰とでも円滑なコミュニケーション
- 後輩に教える
- 医のプロフェッショナルリズムを意識する

臨床研修委員会 コンピテンシー

医療行為のあとは、指導医(上級医)に報告・連絡・相談する
各種問題解決のトレーニングの目的で、なるべく病棟にいる
イザというときにいつもアイツは頼りになる存在といわれる

診療記録をSOAP方式で毎日記載できる

退院時要約を速やかに記載し、指導医(上級医)に添削依頼し、退院2週間までに完成できる
各種診断書を指導医(上級医)と相談し、記載できる

スタンダードプレコーションを実践できる

グラム染色を実戦し、患者背景・感染臓器・原因微生物の推定から適切な抗菌薬を選択できる
培養結果を解釈し、de-escalationできる

針刺し、発熱等の自己の体調不良を指導医(上級医)、そして感染対策室に速やかに報告する
ヒヤリハット、インシデントを指導医・医療安全室に速やかに報告できる
ヒヤリハット、インシデントをSafe Masterを速やかに入力できる

岩手県立中部病院 初期臨床研修

■診療各科

コンピテンス

救急総合診療科

- 担当医として、患者さんの生活背景とQOLを考慮に入れた入院診療計画を作成し、主体的に入院から退院に至るまでの診療に参加する
- 平日日中の救急窓口としての当科の役割を理解し、基本的な初期対応と速やかで適切なコンサルテーションを行えるようにする
- 基本的診療能力が、どの専門家になるうとも、臨床医の『土台』として重要であることを理解し、生涯にわたり自己研鑽していくために基本的な型を身につける

消化器内科

- 病歴聴取に始まる腹部診察を適切に行い、鑑別診断をあげることができる
- 消化管出血、急性胆嚢炎、腸閉塞の初期対応ができる
- 腹部エコー検査で脂肪肝、胆嚢結石、腹水などを描出できる

循環器内科

- 循環器疾患の診断・鑑別につながる病歴聴取ができる
- 循環器領域の緊急疾患の初期対応ができる
- 心エコーができる

呼吸器内科

- 胸部の聴診所見を記載し、その解釈ができる
- 胸部レントゲン・CTの読影ができる
- 動脈血ガス分析の採血を安全にでき、その結果を解釈できる
- 人工呼吸管理の適切な判断と実施ができる

神経内科

- 病歴聴取に始まる神経診察を適切に行い、部位診断・鑑別診断ができる
- 虚血性脳血管障害の初期対応ができる
- 神経内科でよく行う検査(腰椎穿刺)ができる

小児科

- 病歴聴取に始まる小児の診察を適切に行い、鑑別診断ができる
- 主な小児急性疾患(上下気道炎・胃腸炎・気管支喘息・けいれん)の初期対応ができる
- 小児科でよく行う検査、処置(採血・血管確保)ができる
- 新生児の診察ができる

産婦人科

- 産婦人科診察を適切に行い、女性の急性腹症の鑑別診断ができる
- 下腹部から骨盤内の解剖を理解し、手術助手を滞りなく、遂行できる
- 10例以上の経膈分娩に立ち会い、会陰裂傷を修復できる

麻酔科

- 確実に気道確保ができる
- バイタルサインや各種モニターのデータを解釈し、迅速に適切に対応できる
- 静脈路を確保できる

外科

- 協調性を持って働き、チーム医療を推進できる
- 外科的common diseaseに対処できる知識・技能を持つ
- 基本的な輸液管理、全身状態の管理ができる

脳神経外科

- 病歴聴取に始まる神経診察を適切に行い、部位診断・鑑別診断ができる
- 脳卒中の初期診療ができる
- 術後管理ができる

整形外科

- 病歴聴取に始まる診察を適切に行い、整形外科疾患の診察ができる
- 頻度の高い整形外科疾患(大腿骨近位部骨折など)の初期対応ができる
- 整形外科で頻度の高い手術(大腿骨転子部骨折)を指導医の指導の下にプラモデル作りのように達成できる

形成外科

- 顔面外傷の診察を行い、深部組織の損傷等の診断が確実にできる
- 顔面骨骨折の初期対応ができる
- 皮膚縫合が確実にできる

眼科

- 病歴聴取に始まる眼科診察を適切に行い、大まかな部位診断・鑑別診断ができる
- 眼科で行う検査(細隙灯検査、眼底検査など)ができる
- 診断・病態に応じた眼科救急疾患の初期対応ができる

泌尿器科

- 急性腎不全に対する初期対応ができる
- 尿閉に対しての初期対応ができる
- 仙骨神経ブロックができる

皮膚科

- 記載皮膚科学にそって診療録をかける
- 皮膚病理を解釈できる
- 皮弁もしくは植皮で閉創できる
- パッチテストもしくは皮内テストでアレルギーを同定できる

放射線診断科

- 単純X線写真、超音波、CT、MRIなどの画像診断の画像診断の基礎的原理を説明できる
- 救急外来の画像診断で、見落としとしてはいけない大きな異常所見は見つけることができる
- IVRの助手ができる

緩和ケア科

- 痛みなどの身体症状のアセスメントを行い、治療・ケアを学ぶ
- 患者家族とのコミュニケーションを積極的に行い、身体だけでなく、気持ちのつらさや生活の困難さなどのトータルペインを理解する
- 多職種スタッフによるチームケアとの効果を実感する

方略

方略は各研修医のレベルに応じて適宜変更し、
アウトカムを品質保証する

OJT

Off-JT

木曜モーニングセミナー

火曜研修医モーニングカンファランス

各種シミュレーターによるハンズオン

M&M カンファランス

評価

現場評価(WBA)とする

WBA(workplace-based assessment)

観察記録：当院オリジナル評価表

OMP・mini-CEX・DOPS

厚労省の目標の達成度：minimum EPOC

ミニportfolio

評価者：指導医・上級医・ナース・メディカル
スタッフ・研修医